

第8回 常任理事会

日 時 平成21年12月17日(木) 10:30～15:30

会 場 全連小事務局 会議室

次 第 1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 ・各部から ・各地区から

4 議 事

- (1) 全連小諸活動に対する意見・要望について
- (2) 用紙サイズのA4判化について
- (3) 平成22年度全連小活動方針について
- (4) 第204回理事会について
- (5) 平成22年度行事予定について
- (6) 各種委員会の部会別報告会について
- (7) 全連小要望活動について
- (8) 北海道大会について
- (9) 常任理事会情報の取り扱いについて

5 その他

- (1) 平成22年度海外教育事情視察について
- (2) その他

6 閉 会

※ 終了後、国会議員へ要望活動実施

～資 料～

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 1 全連小諸活動に対する意見・要望 | 9 平成22年度海外教育事情視察日程 |
| 2 用紙サイズのA4判化について | 10 会長報告資料 |
| 3 平成22年度活動方針(案) | 11 事業仕分けに対する意見表明依頼 |
| 4 第204回理事会日程等(案) | 12 監事会提出資料(含 11月分通常会計予算
執行状況) |
| 5 平成22年度行事予定表(素案) | 13 他団体等資料 |
| 6 各種委員会の部会別報告会(案) | |
| 7 要望書、要望先・班編成 | |
| 8 北海道大会資料 | |

全連小第8回常任理事会報告

平成21年12月24日

1 道小関連

(1) 全連小北海道大会について

○12/3 付けで各地区に大会宣言文審議委員名と研究発表者名の報告を依頼した。

○常任理事会で分科会充実の方策（北海道案）を確認した。

- ① 発表内容の充実（発表に校長の経営ビジョン、指導性を盛り込む）
- ② 参観型から参加型へ（グループ討議等を取り入れる）
- ③ 討議内容が見えやすい工夫（パワーポイントを活用してキーワード等の提示）
- ④ 共感を生み参加意欲を高める工夫（地区実情交流等）

※2月の全連小第204理事会では、グループ討議を取り入れる予定。

○1月の常任理事会、大会打合せ会で3点セットをすべて提示する。その後、全国各地に発送する。

2 全連小関連

(1) 子ども手当支給に伴う課題の想定（格差是正という目的通りに進むのか）

- ・通塾・稽古ごとに支出する家庭と生活費にまわってしまう家庭の差
- ・国公立受験の過熱化 知育偏重指向の再来？
- ・英会話教室人気の高まりによる ALT 不足等の懸念

(2) 平成20年度教員研修に関する調査(文部科学省)

- ・小学校の初任者研修 拠点校方式 75.3%（前年比 1.2 ポイント増）
- ・小中学校拠点校方式 県 54.7% 政令市 77.9% 中核市 87.7%
- ・小中学校配置人数 一人配置校 59.9% 二人配置校 33.0%
三人配置校 4.5% 四人以上配置校 2.6%

(3) 平成22年度公立学校長等登用状況等調査（文部科学省）

- ・校長の登用の高い県・市 滋賀県、千葉市、川崎市、福井県、兵庫県
- ・主幹教諭未設置 17 県・政令市（昨年度は 45 県市）

(4) ヘキ地手当の対象学校や手当額を各都道府県が独自に基準を条例で定められるよう文部科学省方針決定（時期通常国会でヘキ地教育振興法改正）＝地方分権の具現化

(5) 学習指導要録改訂の通知はゴールデンウィーク前後の予定。

- ・現行の4観点は継続される見通し。

第62回 全連小研究協議会北海道大会に向けて

平成21年12月17日

◎分科会の充実を図るために

1 発表内容の充実

- ・執筆要領に校長としての経営のビジョン、指導性等を盛り込むように依頼

<例として>

挨拶運動の事例発表だけでは、教務主任としての研修になってしまう。挨拶運動を通して、「教職員の参画意識をどう高めようとしているか」「教職員の意識改革をどう図ろうとしているのか」「学校改善をどのように図ろうとしているか」を述べることで、校長会としての研究になる。校長の在り方に焦点をあてた発表をお願いします。

- ・道小事務局幹事（司会者）と研究発表者と発表内容等での連携を図る
(発表要旨の理解、重点化を図るために…)

2 参観型から参加型へ

- ・グループによる討議を取り入れる
- ・意志表示の場を設定する
- ・発表者に発表の概要を執筆いただき、道小のホームページに掲載する

3 分科会の討議内容が見える工夫

- ・キーワードを明示する
- ・論議の中心を明示する
- ・討議の柱との関連を明示する
※実物投影機・パワーポイント等の活用

4 共感をうみ、参加意欲を高める工夫

- ・各地区の実情を知る
- ・各地区での取り組みを知る
- ・自校での改善への意欲をもつ
※名刺の交換、となりの人との交流



平成二十一年十二月十七日

小学校教育の充実・改善に関する要望書

全国連合小学校長会長 向山 行雄

様

社会が激しく変化する時代にあつて、全国二万一千余の小学校長は、地域社会と一体となり、我が国の未来を担う子どもたちの教育に全力を注いでいます。将来の有益な人材の育成なくして我が国の持続的な発展はなく、「教育立国」の実現に向け、国家が積極的にリードし、国民全体で取り組むことが大切です。

教育基本法が改正され、同法に基づく学校教育法等の改正、教育振興基本計画の策定、学習指導要領の先行実施など、学校教育の充実を図るための施策等が次々と推進されていることに、私たちは大いに期待を寄せております。

全国連合小学校長会は、「新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」をテーマとし、教育への国民の信託に応えられる学校を目指し「志を高く掲げ力強く前進する校長会」として、小学校教育のより一層の充実・発展に向け力を尽くしております。

今日の我が国の行財政状況を踏まえつつも、子どもたちの将来と我が国の将来のために「教育立国」にふさわしい小学校教育を実現する人的・物的措置の一層の充実と教育諸条件の整備に向けて、左記の八項目について要望いたします。格段のご配慮をお願いいたします。

記

- 一、我が国の義務教育の質を高めるために、公財政教育支出の充実と人材確保法の堅持
- 二、教員の子どもと向き合う時間を確保するため、教員の定数改善や人的措置、諸条件の整備
- 三、学校教育への信頼を一層高めるために、教職員の資質向上を図る施策の充実
- 四、豊かな心や健やかな体の育成にむけた教育を充実させるための施策の充実
- 五、学習指導要領が円滑に実施できるようにするために、施設・設備・教材等の整備・拡充
- 六、学校、家庭、地域が一体となって教育を推進するための施策の充実
- 七、教育の機会均等を保障するため、へき地校・小規模校の教育を充実させる施策の推進
- 八、優秀な人材を教育界に確保できるようにするために、管理職及び教職員の処遇改善